

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.110

2009/01/20

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

保全活動の質的前進を図ろう

明けましておめでとうございます。2009 年も一段の飛躍の年にしたいものです

2009 年の保全活動の飛躍を祈願した「守護岩」(09/01/01)

2009 年も「山門水源の森」は白銀の世界となりました。恒例の「守護岩」詣では 7 名が参加して頂き、60 cm の積雪の守護岩では浅井会員ご手製の注連縄を張り替え、御神酒を捧げるとともに本年の保全活動の安全と前進を祈願いたしました。昨年の 12 月 26 日からは断続的に降雪日が続き完全な根雪のシーズンとなっています。こうした積雪状態にも関わらず訪問者は数こそ少ないものの続いています。積雪の中での動物の動きや湿原の積雪が創り出す造形は、何度訪れても感嘆しきりです。冬山装備で是非お訪ね下さい。



ブナの森に行く守護岩詣で (09/01/01)



南部湿原池塘の積雪模様 (09/01/14)



中央湿原を疾走するシカの群 (08/12/24)

通水した北部湿原の推移

09/12/13 に通水を行った北部湿原では、日々湿原の下部層にも水が浸透していき1週間後には末端(東側)部にまで達していることが観察されました。その後降雪があり日々表面の様相は変化をしています。20年前に池塘であった場所は、再びその環境を取り戻しつつあります。復元した北部湿原北端部にもミツガシワ、トキソウ、サギソウなども散在しておりこれらの分布の推移が気になるところです。一部には刈り払い後の整理が終了していないところがあり、雪解け後最初の保全作業はこの作業からになります。各種植物の発芽を促すためには、どうしても避けて通れない作業となります。



水路が延びる復元北部湿原 (08/12/19)



復元湿原の初積雪 (08/12/26)



復元湿地への本格的積雪 (09/01/01)



復活した池塘 (08/12/24)



復活した池塘の積雪 (09/01/14)



ササ分布域の水路の状態 (09/01/14)

復活した池塘や水路には、刈り払い前には灌木やササが生えていた部分かなりの面積を占めています。これらが通水によってどのようになるかが今後の作業量を決めることになります。特にササ類の推移が気になるところです。加えて通水後現在までは問題になっていませんが、融雪期や降雨時に山地から供給される土砂がどの程度流路に流れ込んでくるかも問題です。これらの課題は、今後追跡調査をして、問題が発生した時期に対応していく必要があります。今年も課題は満載です。例年通り**第3土曜日**き原則として「**保全活動の日**」として一歩前進を考えています。会員の皆様のご協力を宜しく願います。

積雪期は湿原内への立入は自由です